

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ゴールドマン・サックス 米国REITファンド Aコース/Bコース」は、このたび、第148期～第153期の決算を行いました。本ファンドは、米国のリートを主要投資対象として、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

Aコース	第153期末(2016年10月24日)		第148期～第153期	
	基準価額	3,616円	騰落率	4.55%
	純資産総額	42,225百万円	分配金合計	240円
Bコース	第153期末(2016年10月24日)		第148期～第153期	
	基準価額	3,023円	騰落率	-1.52%
	純資産総額	319,881百万円	分配金合計	450円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンドラインナップ」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

ゴールドマン・サックス 米国REITファンド

愛称：コロンブスの卵

Aコース(毎月分配型、為替ヘッジあり)
Bコース(毎月分配型、為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／不動産投信

第148期(決算日2016年5月23日)
第149期(決算日2016年6月23日)
第150期(決算日2016年7月25日)
第151期(決算日2016年8月23日)
第152期(決算日2016年9月23日)
第153期(決算日2016年10月24日)

作成対象期間：2016年4月26日～2016年10月24日

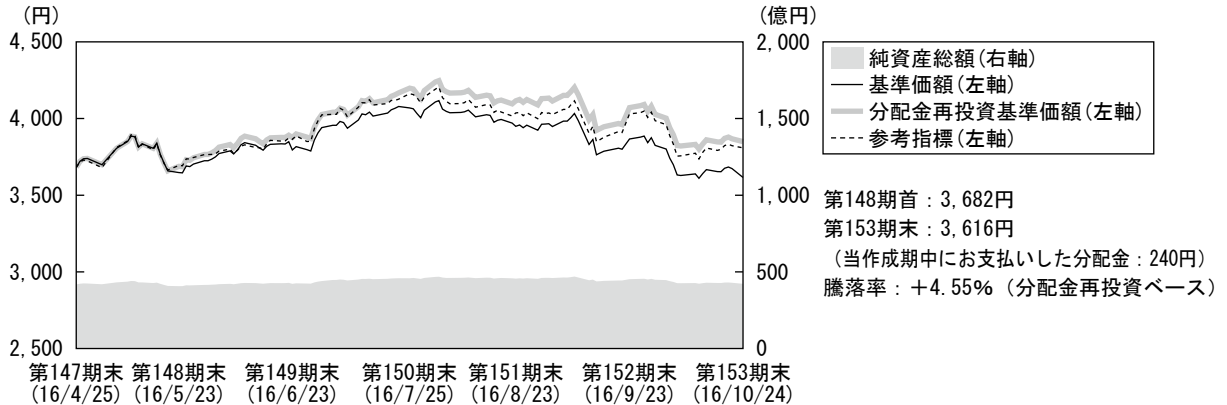
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000(代表)
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

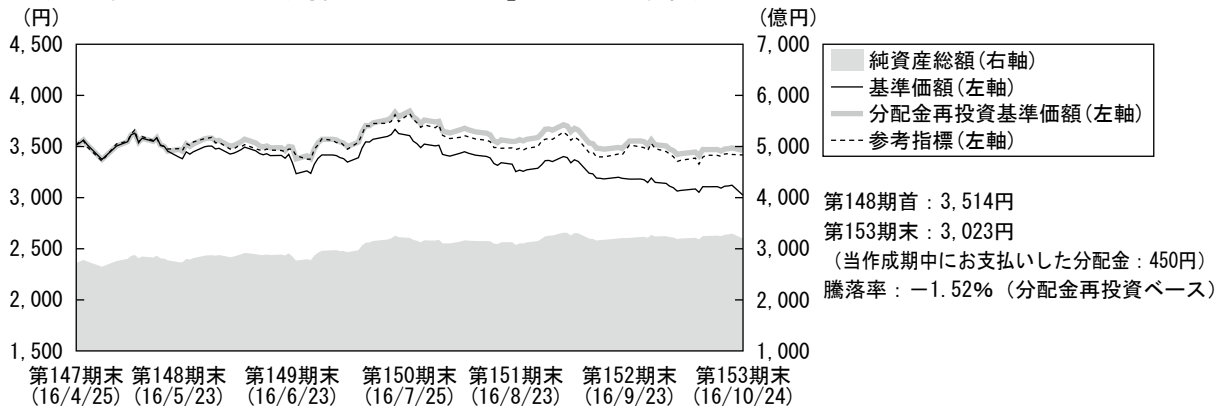
運用経過

■ 基準価額等の推移について（2016年4月26日～2016年10月24日）

○ゴールドマン・サックス 米国REITファンドAコース（毎月分配型、為替ヘッジあり）
（以下、「Aコース（為替ヘッジあり）」といいます。）



○ゴールドマン・サックス 米国REITファンドBコース（毎月分配型、為替ヘッジなし）
（以下、「Bコース（為替ヘッジなし）」といいます。）



(注1) 参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCI米国REITインデックスを委託会社が円ヘッジベースに換算した指数、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCI米国REITインデックスを委託会社が円換算した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の3,682円から66円下落し、期末には3,616円となりました。
 - Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の3,514円から491円下落し、期末には3,023円となりました。
- （以下、2ファンドを総称して本ファンドといいます。）

上昇要因

米国リート市場（米ドルベース）が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。また、リバティー・プロパティ・トラストやベンタスが保有期間中に上昇したことなども基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ライフ・ストレージやサイモン・プロパティ・グループが保有期間中に下落したことや分配金をお支払いしたことなどが基準価額の下落要因となりました。また、Bコース（為替ヘッジなし）については米ドルが対円で下落したことも基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第148期～第153期		項目の概要
	2016年4月26日～2016年10月24日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	30円 (16) (13) (2)	0.770% (0.404) (0.323) (0.043)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 （投資信託証券）	2 (2)	0.060 (0.060)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 （投資信託証券）	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	0 (0) (0) (0)	0.006 (0.003) (0.002) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	32	0.837	
期中の平均基準価額は3,869円です。			

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第148期～第153期		項目の概要
	2016年4月26日～2016年10月24日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	26円 (14) (11) (1)	0.770% (0.404) (0.323) (0.043)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 （投資信託証券）	2 (2)	0.064 (0.064)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 （投資信託証券）	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	0 (0) (0) (0)	0.006 (0.003) (0.001) (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	28	0.841	
期中の平均基準価額は3,406円です。			

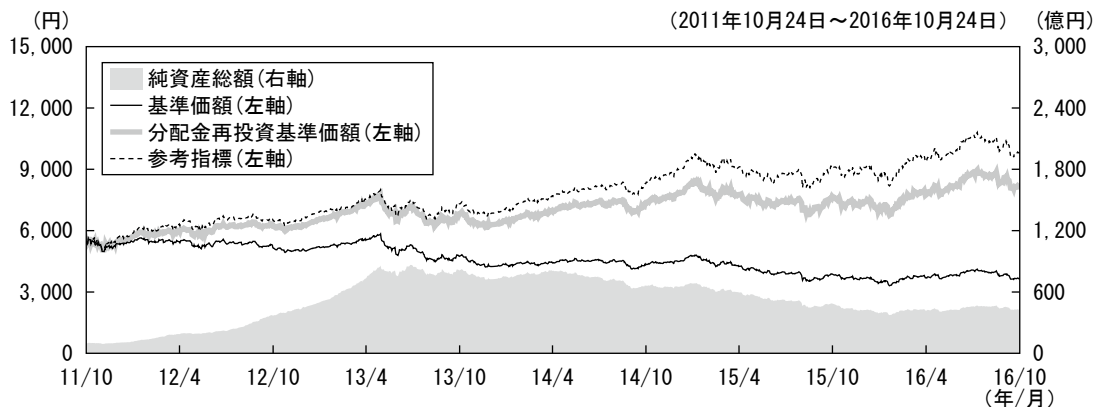
（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

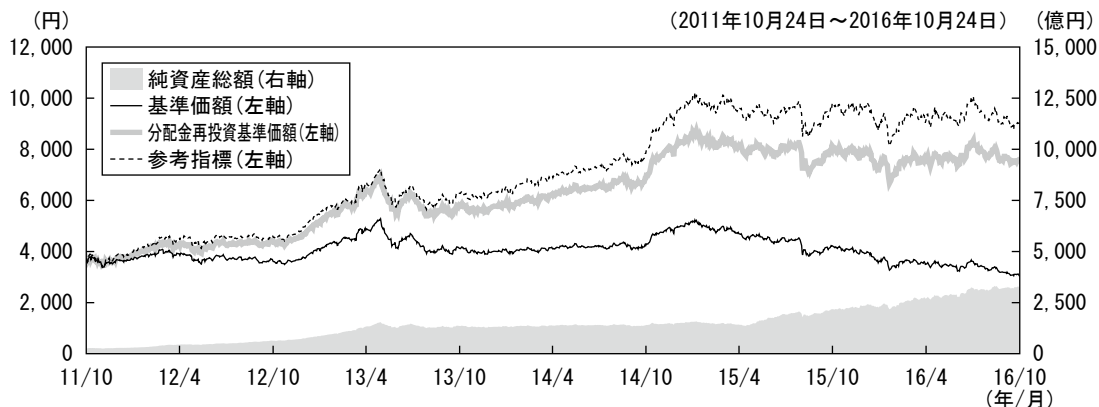
（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、2011年10月24日の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（為替ヘッジあり）

	2011/10/24 決算日	2012/10/23 決算日	2013/10/23 決算日	2014/10/23 決算日	2015/10/23 決算日	2016/10/24 決算日
基準価額（分配落）（円）	5,345	5,182	4,745	4,322	3,879	3,616
期間分配金合計（税引前）（円）	—	1,020	870	735	645	480
分配金再投資基準価額騰落率	—	17.33%	8.61%	7.63%	4.66%	6.02%
参考指標騰落率	—	22.37%	11.69%	13.64%	10.89%	6.28%
純資産総額（百万円）	9,807	36,753	81,034	65,804	48,713	42,225

○Bコース（為替ヘッジなし）

	2011/10/24 決算日	2012/10/23 決算日	2013/10/23 決算日	2014/10/23 決算日	2015/10/23 決算日	2016/10/24 決算日
基準価額（分配落）（円）	3,588	3,637	4,130	4,234	4,224	3,023
期間分配金合計（税引前）（円）	—	720	620	600	775	900
分配金再投資基準価額騰落率	—	23.01%	31.49%	18.55%	18.17%	−7.51%
参考指標騰落率	—	28.26%	36.40%	24.90%	25.27%	−8.30%
純資産総額（百万円）	26,469	63,600	135,698	138,556	218,070	319,881

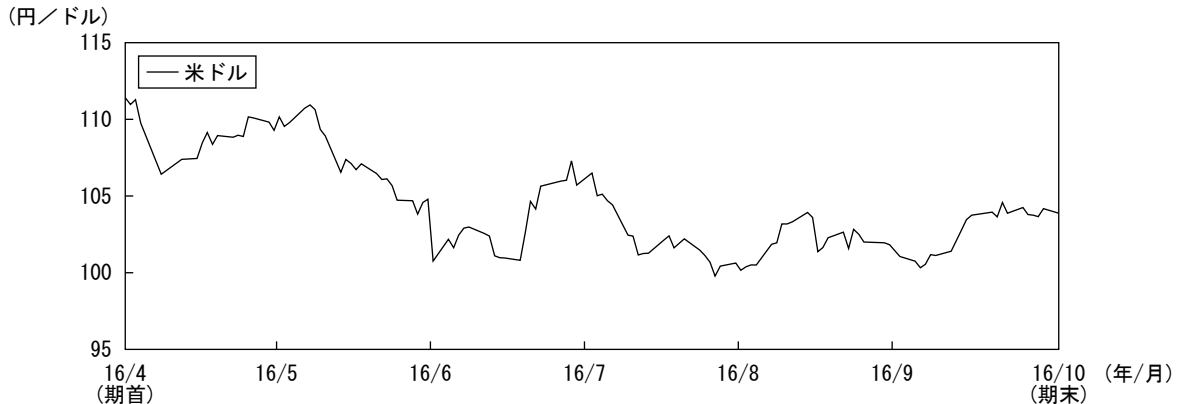
■ 投資環境について

<米国リート市場>

米国リート市場は上昇しました。期の序盤は、軟調な5月の米雇用統計や6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において緩やかな利上げが示唆されたことなどを背景に追加利上げ観測が後退したことや、英国の国民投票がEU（欧州連合）離脱に決したことを受けたリスク回避の動きなどから、長期金利が低下したことなどがプラス材料となり上昇しました。その後も市場予想を上回る好調な決算発表が相次ぎ、株式市場が上昇したことなどから連れてリート市場も堅調に推移しました。期の後半は、イエレン議長をはじめFRB（米連邦準備制度理事会）の主要メンバーから早期の利上げを示唆する発言が相次いだことなどから、年内の追加利上げが意識され、長期金利も上昇傾向となったことなどから概ね軟調な推移となりましたが、結局前期末を上回る水準で期を終えました。

<外国為替市場>

外国為替市場では米ドルに対して円高が進みました。



出所：一般社団法人投資信託協会

■ ポートフォリオについて <本ファンド>

本ファンドはゴールドマン・サックス 米国REITマザーファンドを概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指しました。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指しました。

<本マザーファンド>

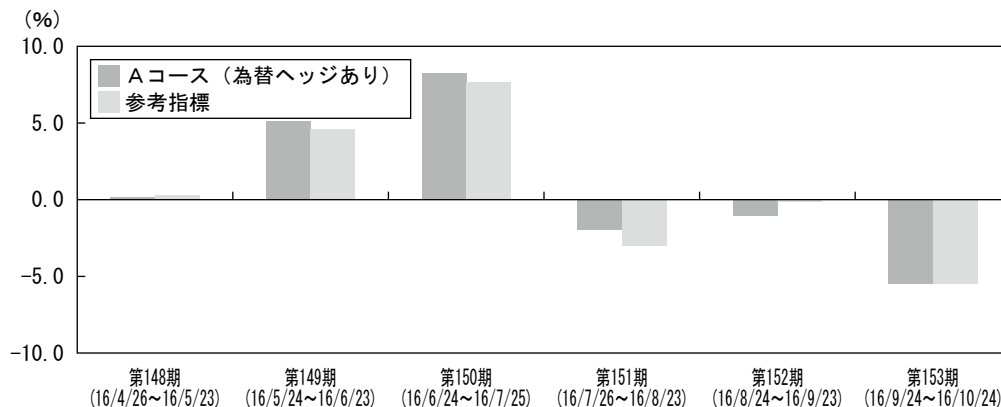
当期中の主なポジションとしては、有利な不動産の賃貸借条件のビジネスモデルを有するなど利回りの高いセクターをオーバーウェイトとしました。一方で、比較的利回りの低いセクターをアンダーウェイトとしました。また、安定的な配当利回りを維持するため、比較的利回りの高い優先証券の組入れを継続しました。当期において、業種配分では貸倉庫セクターのアンダーウェイトおよび産業用施設セクターのオーバーウェイトなどがプラス寄与となりました。個別銘柄では、リバティ・プロパティ・トラストやベンタスが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、当期において、業種配分ではオフィスセクターおよび小売・商業施設セクターのアンダーウェイトなどがマイナス寄与となりました。また個別銘柄では、ライフ・ストレージやサイモン・プロパティ・グループが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

■ ベンチマークとの差異について

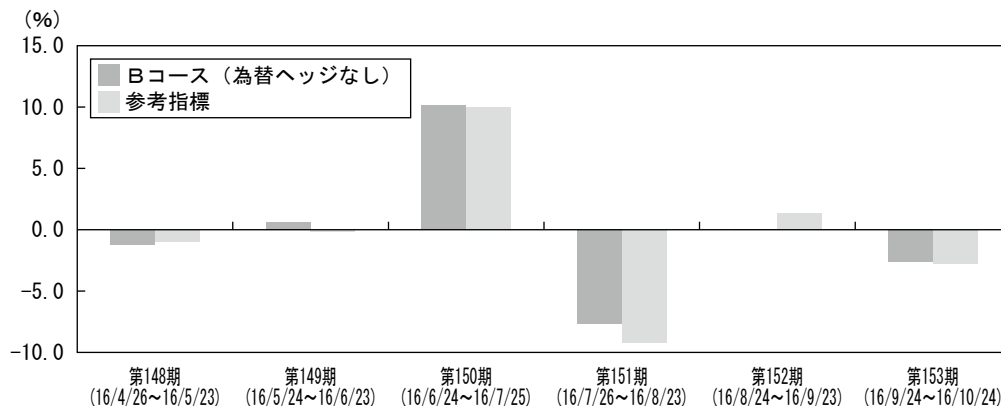
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



（注）各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のAコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+4.55%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+3.44%となりました。Bコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は-1.52%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-2.77%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Aコース（為替ヘッジあり）は第148期から153期は各40円としました。Bコース（為替ヘッジなし）は第148期から153期は各75円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○Aコース（為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第148期	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期
	2016年4月26日 ～2016年5月23日	2016年5月24日 ～2016年6月23日	2016年6月24日 ～2016年7月25日	2016年7月26日 ～2016年8月23日	2016年8月24日 ～2016年9月23日	2016年9月24日 ～2016年10月24日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	1.085	1.043	0.973	1.003	1.024	1.094
当期の収益	3	7	39	2	2	20
当期の収益以外	36	32	0	37	37	19
翌期繰越分配対象額	615	582	619	582	544	525

○Bコース（為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第148期	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期
	2016年4月26日 ～2016年5月23日	2016年5月24日 ～2016年6月23日	2016年6月24日 ～2016年7月25日	2016年7月26日 ～2016年8月23日	2016年8月24日 ～2016年9月23日	2016年9月24日 ～2016年10月24日
当期分配金	75	75	75	75	75	75
（対基準価額比率）	2.160	2.194	2.037	2.253	2.303	2.421
当期の収益	2	5	20	2	1	16
当期の収益以外	72	69	54	72	73	58
翌期繰越分配対象額	3,043	2,974	2,920	2,848	2,775	2,718

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

引き続き本マザーファンド受益証券を概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。

＜本マザーファンド＞

米国リート市場において、当社では需給や資本調達コスト、資本調達環境などの要因を注視しています。商業用不動産の需要に対する影響が非常に大きい米国経済は着実な成長を続けており、失業率は2009年のピーク以降低下傾向が継続し、現在は低位にとどまっています。需要が拡大する一方、新規建設着工は依然として限られているため、商業用不動産市場では需給のひっ迫を受けた空室率の改善や賃料の上昇が継続しており、米国リーートのキャッシュフローは今後も拡大することが見込まれます。2015年末には政策金利の引き上げが実施されましたが、現在の金利水準は過去平均と比較し低位で推移しています。今後も堅調な経済成長が反映された緩やかな金利上昇となる場合には、過去に見られるように、米国リートは相対的に堅調に推移すると考えています。また、資本調達環境と資本調達コストは歴史的に良好な水準にあり、米国リート市場にとって非常に良好な環境であると言えます。このような環境下、米国リートは、非上場不動産会社などと比較して有利な資本調達環境を活かした買収などによる外部成長が期待され、賃料の上昇に伴う収益の改善による内部成長も見込まれます。さらに、実質配当性向は過去平均に比べ低水準にとどまっているため、配当の拡大余地は大きいと考えています。加えて、バリュエーションは債券市場と比べて引き続き割安であると見ています。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネスモデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

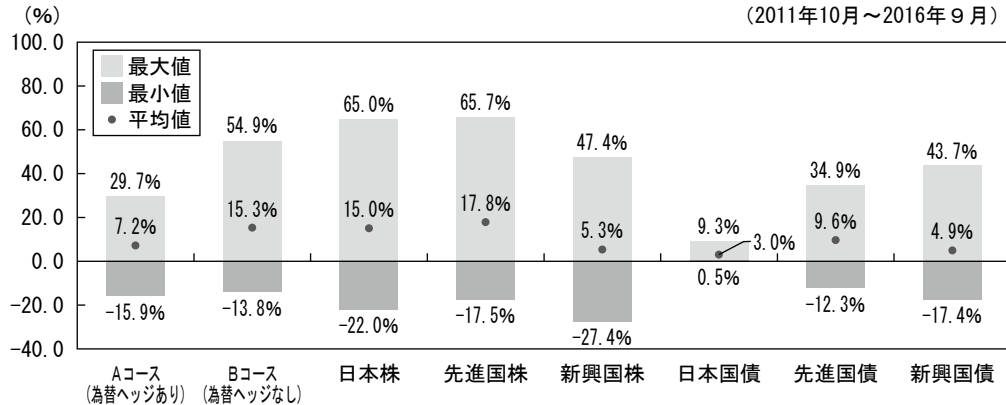
（上記見通しは2016年10月24日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	原則として無期限
運用方針	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（NASDAQ）において取引されているREIT（不動産投資信託）への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	ゴールドマン・サックス 米国REITマザーファンドの受益証券
ゴールドマン・サックス 米国REITマザーファンド	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（NASDAQ）において取引されているREIT（不動産投資信託）
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②実質外貨建資産については、Aコースでは、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とし、Bコースでは、原則として為替ヘッジを行いません。 ③本ファンド及びマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年10月から2016年9月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年10月24日現在）

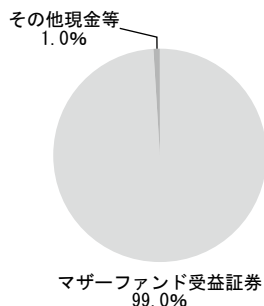
< Aコース（為替ヘッジあり） >

○組入れファンド

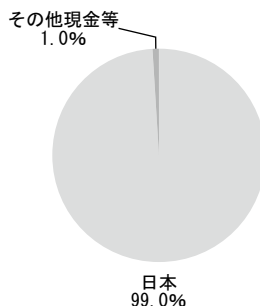
（組入銘柄数：1 銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス 米国REITマザーファンド	99.0%

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全てAコース（為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。

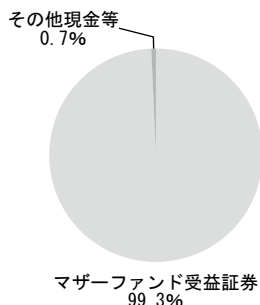
< Bコース（為替ヘッジなし） >

○組入れファンド

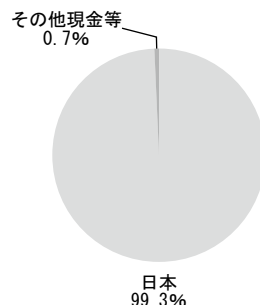
（組入銘柄数：1 銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス 米国REITマザーファンド	99.3%

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全てBコース（為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第148期末	第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末
	2016年5月23日	2016年6月23日	2016年7月25日	2016年8月23日	2016年9月23日	2016年10月24日
純資産総額	40,697,372,825円	42,225,029,503円	45,841,840,871円	45,615,985,079円	45,231,644,425円	42,225,940,441円
受益権総口数	111,573,622,900口	111,257,478,152口	112,661,389,440口	115,503,543,074口	116,955,677,518口	116,759,514,638口
1万口当たり基準価額	3,648円	3,795円	4,069円	3,949円	3,867円	3,616円

（注）当作成期首元本額は113,641,457,297円、当作成期間（第148期～第153期）中において、追加設定元本額は19,466,212,865円、同解約元本額は16,348,155,524円です。

○Bコース（為替ヘッジなし）

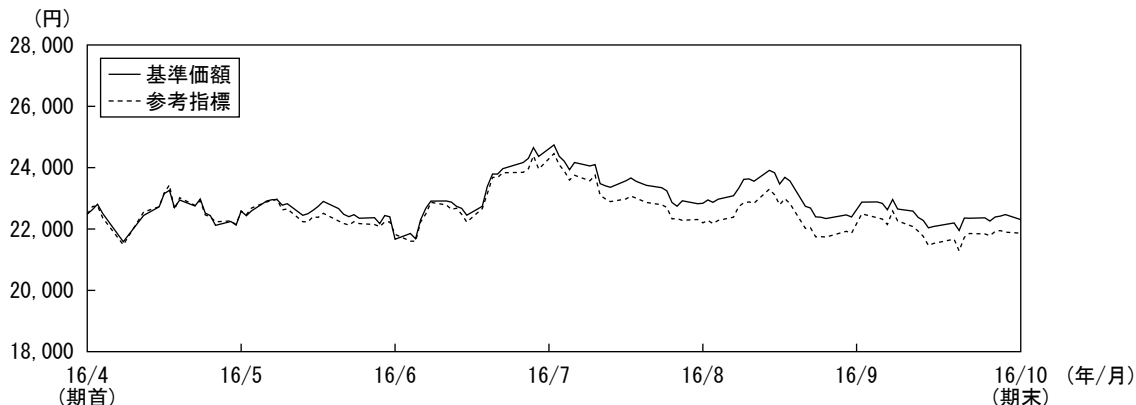
項目	第148期末	第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末
	2016年5月23日	2016年6月23日	2016年7月25日	2016年8月23日	2016年9月23日	2016年10月24日
純資産総額	273,630,320,216円	284,844,990,048円	321,321,911,279円	307,342,393,136円	321,128,649,022円	319,881,048,640円
受益権総口数	805,413,699,412口	852,151,153,301口	891,092,406,740口	944,573,087,281口	1,009,433,474,951口	1,057,986,192,415口
1万口当たり基準価額	3,397円	3,343円	3,606円	3,254円	3,181円	3,023円

（注）当作成期首元本額は773,793,943,563円、当作成期間（第148期～第153期）中において、追加設定元本額は340,034,176,330円、同解約元本額は55,841,927,478円です。

■ 組入上位ファンドの概要

ゴールドマン・サックス 米国REITマザーファンド（2016年10月24日現在）

○基準価額等の推移について（2016年4月26日～2016年10月24日）



（注1）基準価額等の推移については組入ファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）参考指標はMSCI米国REITインデックスを委託会社が円換算した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

（注3）参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

○1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 （投資信託証券）	15円 (15)
有価証券取引税 （投資信託証券）	0 (0)
その他費用 （保管費用）	1 (1)
合計	16

（注1）1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。

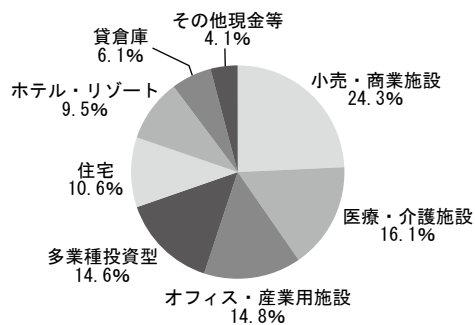
（注2）1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

○組入上位10銘柄

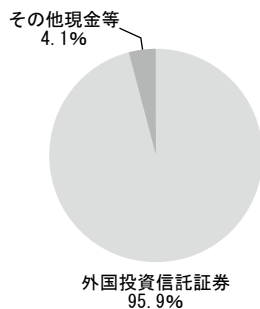
(組入銘柄数：59銘柄)

	銘柄	国	業種	比率
1	サイモン・プロパティ・グループ	アメリカ	小売・商業施設	7.4%
2	ベントス	アメリカ	医療・介護施設	5.0%
3	リパティ・プロパティ・トラスト	アメリカ	多業種投資型	4.5%
4	HCP	アメリカ	医療・介護施設	4.0%
5	アパロンペイ・コミュニティーズ	アメリカ	住宅	3.6%
6	ウェルタワ	アメリカ	医療・介護施設	3.6%
7	ブリックスモア・プロパティ・グループ	アメリカ	小売・商業施設	3.5%
8	DDR	アメリカ	小売・商業施設	3.3%
9	エクイティ・レジデンシャル	アメリカ	住宅	3.0%
10	パブリック・ストレージ	アメリカ	貸倉庫	3.0%

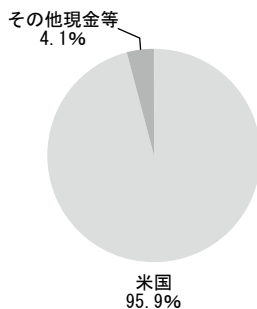
○業種別配分



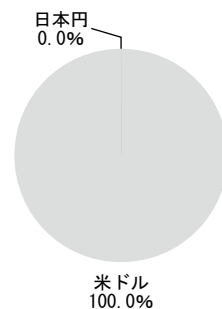
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、業種別配分、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。

(注2) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。